

<オリエンテーション>

1. 講義の目的

「キリスト教思想と近代世界

前期:キリスト教信仰の基本問題

後期:近代キリスト教思想史の諸問題

2. 講義内容と順序

レベル:議論講義と従来の特殊講義の中間、学部生向け特殊講義

導入 1:オリエンテーション(本日)

2:宗教としてのキリスト教

2-1:キリスト教の多様性と統一性

2-2:信仰

2-3:神

2-4:象徴・神話

序論:キリスト教研究に向けて

序論:近代世界とキリスト教

第1講:聖書 - キリスト教思想の源泉 -

第1講:啓蒙思想のインパクト

1:正典論、神の言葉と人間の言葉

第2講:宗教学と宗教本質論

2:啓示

1:理神論とカント

3:創造

2:シュライエルマッハー

4:知恵

3:オッター

5:終末

4:ユング

第2講:古代 - キリスト教教理の形成過程 -

第3講:宗教批判

1:国教化

1:フォイエルバッハ

2:正統と異端

2:マルクス

3:三位一体論

3:ニーチェ

4:キリスト論

4:フロイト

第3講:中世・宗教改革 - 教理の展開過程 -

5:キルケゴールとバルト

1:自然法と摂理

第4講:宗教的多元性

2:啓示神学と自然神学

1:現代世界の宗教的状況

3:教会と sacrament

2:エキュメニズム

4:信仰義認

3:宗教の神学と宗教対話

3: 課題・単位

夏休み:前期の講義に関するレポート(内容は講義にて指示)

学年末:後期の講義に関する筆記試験(内容は講義にて指示)

4: 参考書

芦名定道 『宗教学のエッセンス』(北樹出版):前期の内容に関連

芦名定道 『ティリッヒと現代宗教論』(北樹出版):後期の内容に関連

5: 受講の注意

積極的な受講態度